

2023年新春のご挨拶

一般社団法人 ロシアNIS貿易会
会長 飯島 彰己

新年、明けましておめでとうございます。

世界経済は、新型コロナという未知なる脅威に遭遇しリーマンショック以来となる大きな落ち込みを経験しましたが、それに追い打ちをかけるような格好でロシアによるウクライナ侵攻が勃発しました。その結果、エネルギーや穀物などの国際取引に支障が生じ、多くの国々において経済活動が広範にわたり鈍化し、一般市民の生活にも否定的影響が及ぶことになりました。ただ、関係各位のご努力もあり、幸いにも、エネルギーや食糧の調達に顕著な支障が生じるという事態は日本では回避されております。



2022年2月以降の国際情勢により、ロシア事業を取り巻く環境は大きく変化し、ロシアに進出した日本企業は事業を継続していくか、あるいは縮小するかの戦略的な判断に迫られています。当会は、こうした日本企業のニーズに対応すべく新たな会員サービスを日々模索しており、例えば、従来の定期刊行物を通しての情報提供に加え、インターネット等を活用し、即時性を重視した情報の提供に力を入れています。このような取り組みを通じて、日本企業が様々な判断を行っていく上で必要な情報をいち早く提供していく所存です。

NIS諸国やモンゴルに目を向けますと、これらの国々を取り巻く状況の変化にともない、新たな展望が切り開かれることを期待しています。その意味で、コロナ禍で暫く延期されていた二国間経済合同会議を再開できる状況となったことは、誠に喜ばしいかぎりです。例えば、昨年9月には「第11回日本アゼルバイジャン経済合同会議」、10月には「第16回日本ウズベキスタン経済合同会議」を現地で、11月にはフレルスフ・モンゴル国大統領の訪日に合わせ「第10回日本モンゴル官民合同協議会」、12月には「第14回日本トルクメニスタン経済合同会議」を東京で開催しました。2023年もこうした活動を重ねて、NIS諸国やモンゴルとの交流を深めていきたいと思っています。

一日も早く国際情勢が落ち着き、本年が良い年になりますことをお祈り申し上げますとともに、皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念申し上げます。